

平成23年6月1日発行

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



せかいの台所 ジャマイカ編



国際村だより もくじ

- P 2 : 平成23年度 出羽庄内国際村事業計画
- P 3 : 災害を経験して初めてわかる大切なこと、
私たちにできること 東日本大震災を経験して
- P 4 : 永武ひかる写真展「森に聴くfromアマゾン」
ゴールデンウィーク・アマゾン子どもフェスティバル
- P 5 : 英語特別講座Everyday English
せかいの台所 韓国／ジャマイカ
- P 6 : 鶴岡中央高校 留学生からのお便り
- P 7 : 平成22年度 相談窓口、通訳・翻訳業務等の報告
英語交流クラブ
- P 8 : 出羽庄内国際村ワールドバザール



アマゾン民族館

世界の民族と文化 好評開催中

開館時間 9:00～17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 56

Quarterly

2011.4－2012.3

出羽庄内国際村の事業計画

(財)出羽庄内国際交流財団は、出羽庄内国際村を活動拠点に、関係団体及びボランティアの方々との協働の組織を核にして、地域の人たちの国際交流の促進を図ります。

また、地域と外国出身の住民が共に安心して暮らしていける環境づくりをめざして、4つの項目を重点に事業に取り組みます。

【国際交流を促進する事業】

交流イベントを開催するほか、交流事業の開催支援を行います。

主催事業は、国際交流関係団体やボランティアの方々を中心に実施し、活動の輪を広げていきます。

- ワールドバザールの開催
- 音楽祭の開催
- 交換留学生への支援
- 新年を祝う会（交流会）の開催



【国際理解を促進する事業】

様々な国や地域の文化や成立ちなど、聞いたり触れたり、実際に体験してみて、知っていただきます。

- 外国語講座の開催
- 英語交流クラブ
- せかいの台所（料理教室）の開催
- 太極拳講座の開催
- 小中学校国際理解事業への協力
- コロラドスタディツアー（中高生、社会人）



【多文化共生を促進する事業】

地域住民と外国出身住民お互いが、それぞれの文化や習慣を理解し、共に安心して暮らしていける地域づくりを行います。

在住外国人への支援だけでなく、地域が一体となった「多文化共生」の地域づくりを目指します。

- 日本語教室運営の支援
- 日本語スピーチコンテスト
- 生活相談窓口の設置
- 通訳や翻訳の対応
- 外国人留学生への奨学金
- 多言語生活ガイドブックの配布
- ホームページにおける多言語での情報提供



【民族文化を学習・研究する事業】

様々な国や地域の民族資料をもとに、人びとの生活やその地域の自然を紹介します。

- 特別企画展の開催
- アマゾン子どもフェスティバルの開催
- アマゾン民族館入館料の割引サービス



災害を経験して初めてわかる大切なこと、私たちにできること

～ 東日本大震災を経験して ～

3月11日、大きな地震と大津波が東北地方を襲いました。命を落とされた多くの方々のご冥福を、心からお祈り申し上げます。

想像を超えた天災、また福島原子力発電所の事故など、日本だけでなく世界にも影響を及ぼす様々なことが起き、また現在も復旧のための活動が続けられています。同じ東北でも、幸い日本海側では地震そのものの被害はあまりありませんでした。それでも停電や物の不足、また地震後の様々な情報などが飛び交い、以前のような生活に戻るまで多くの人が大きな不安を感じたと思います。

現在鶴岡の外国籍の登録者は約750人、日本国籍を取った人も含めると、多くの外国出身の方が庄内には在住しています。家族や親しい友人に日本人がいたとしても、災害という特殊な状況の中で、今まで聞いたことのない言葉や経験したことのない事柄に、どれだけ不安な気持ちになったでしょうか。

各国の大使館なども被災地にいる自国民を安全な場所へ移動させるなど、様々な対応をしたようです。太平洋側の多くの外国人が、日本海側を経由して西日本に行ったり、母国に帰国したりしました。大使館や災害の情報が噂になるなどして、国際村にも正しい情報を求める問合せが多く寄せられました。中には言葉がわからないため、母国の人に日本の様子について問合せをし、はじめて理解した、という人もいました。

少し時間が経ち、日本語教室などに再び通い始めた外国出身の方々に話を聞くと、皆さんの心がとても落ち着いているということがわかりました。特に国際結婚などで、家族が日本にいる人や就職して家族を養っている人などは、母国の家族から帰るよう再三言われていても、「自分の生きる場所はここだ」という気持ちを強く持っているようでした。家族や地域の人との気持ちの上でのつながりも深く、周りの人の行動や考えを注意深く理解しようとしている様子でした。

日本人の冷静さや規律のよさが海外では非常に評価されている、といわれていますが、国籍はどこであれ日本人に深く関わって共に生活している外国出身の人には、それ以上の冷静さや観察力があるかもしれません。母国の習慣や文化を持ちながら日本で生きることを選んだ人たちは、まさに「共生」していると言えるでしょう。

【国際村で現在行っていること】

ホームステイ ボランティア

国際村ではこれまで、多くのホストファミリーのご協力をい

ただきながら、外国人訪問者の受入れを積極的に行ってきました。その中で「避難所での集団生活などが大変な方のホームステイを受入れできます」という声が複数寄せられ、国際村ではホストファミリーはじめボランティア登録されている方に広く希望調査をしました。現在は空きになっている家や部屋の提供など何件かの希望を受けています。鶴岡市の担当課や現地で活動しているボランティア団体などに情報提供をし、要望に応じてマッチングなどをしていく予定です。

多言語情報提供

東京外語大学や自治体国際化協会、山形県国際室などから、様々な情報が寄せられています。そこで国際村のHP上では、外国語による情報提供を、英語・中国語・韓国語で行っています。内容は以下のとおりです。

- ・公共機関を使った交通手段
- ・多言語による安否確認
- ・多言語ラジオの情報
- ・地震関連情報ポータルサイト

また山形県で発表している県内の放射線についても、3言語で要約し、空気中の放射線、県が検査している農作物の放射線の状況を提供しています。

コミュニティ通訳 勉強会・情報の翻訳

国際村には「コミュニティ通訳」という、生活上必要とされる通訳や翻訳をボランティアで行うグループがあり、小学校の家庭訪問、市役所での手続き、学校のお便りの翻訳など、様々な場面で活躍いただいています。現在は7言語、約40名のボランティアが登録していますが、毎月1回、英語、中国語、韓国語のグループがそれぞれ自主勉強会をしています。震災の後、ボランティアの方から「地震関係の通訳の勉強がしたい」という声があり、5月の勉強会は3グループ合同で、防災学習館での通訳勉強会を行いました。また「地震に対する10の備え」「地震 その10のポイント」(東京消防庁作成)といった外国出身の人にもわかりやすい資料を、勉強の意味を含めてボランティアで分担し、3言語に翻訳することにしました。現在は校正中で、完成後は国際村日本語教室などで配布する予定です。

長い間のボランティアの皆さんの活動があるからこそ、国際村でできることも大変多くなってきました。今後も協力を得ながら、大切なことを見逃さず、私たちができることに取り組んでいきたいと思っています。



アマゾン民族館特別企画



永武ひかる 写真展

写真家、ワンダーアイズプロジェクト代表

「森に聴くfromアマゾン」



3月9日～13日の5日間、写真家・永武ひかるさんの写真展「森に聴くfromアマゾン」が、国際村ホールで開催されました。

永武さんは、90年代は主にアマゾンなど南米をフィールドに撮影取材をし、アマゾンの国際協力などNGO活動にも携わってきました。2000年からは子ども達が写真を写すプロジェクト「ワンダーアイズ」の活動で、世界各地でワークショップや写真展などを開催し、現在も広く活躍されています。

写真展では、木々が茂るジャングルに光が差し込むアマゾンの自然の風景、生き生きとしたインディオの生活や子ども達の笑顔などの写真、計28点を展示しました。

前号でお知らせをした12日予定の講演会は、11日の東日本大震災の影響により中止となり、参加を予定されていた皆様にはお詫び申し上げます。講師の永武さんも今まで数度鶴岡を訪れていて、久しぶりの来鶴をととても楽しみにされていました。今回の写真展にかかった費用などは、永武さんの「震災への復興に役立てて欲しい」という強い希望から、全額を日本赤十字に寄付させていただきました。庄内は震災で大きな被害はありませんでしたが、東北が早



アマゾンの写真計28点を展示

く元気になって欲しいという永武さんのお気持ちでした。いつかまた、永武さんを鶴岡にお招きする機会があれば、と思います。

5/3

ゴールデンウィーク アマゾン子どもフェスティバル

5月3日、アマゾン民族館では「ゴールデンウィーク アマゾン子どもフェスティバル」が開催されました。今年は震災の影響がとても心配されたのですが、天候にも恵まれ、例年以上の子ども達が遊びに来てくれ、とても賑やかなイベントになりました。

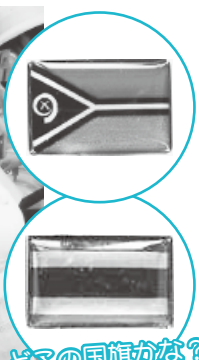
今回のテーマは“世界のいろいろな国について学んでみよう”の第2弾！アマゾン民族館の壁に写し出されたスライドを見ながら山口館長の話を聞いて、クイズラリーに挑戦。難しい問題ではありましたが、皆答えを一生懸命考えていました。クイズラリーの参加賞として子ども達には世界の国旗ピンバッチをプレゼント！クイズで学んだばかりの国のバッチが当たると大

喜びでした。

通路では前回も大好評だった「世界の民族衣装コーナー」を設置。たくさんの親子が、いろいろな国の衣装の試着を楽しんでいました。スライドで紹介された国の衣装に、子ども達も興味津々。家族で、お友達同士で、皆一緒に楽しんでいただけたと思います。

8月13日(土)には、「夏休みアマゾン子どもフェスティバル」を開催します。ゴールデンウィークは世界の国々について学びましたが、夏はアマゾンのインディオについて詳しく学習します。

また夏もアマゾン民族館で一緒に楽しく学びましょう。



2/27(日)

出羽庄内国際村
英語特別講座エブリディ イングリッシュ
Everyday English

昨年度2月27日(日)、英語特別講座「Everyday English (エブリディ イングリッシュ)」を開催しました。

参加者は16名。通常の語学講座とは違い、一対一で自分のレベルにあった会話ができるため、皆さん積極的に話かけていました。

英語の体験型講座の企画は初めてで、最初は不安もありましたが、指導者の方々の豊富なアイデアと、参加者の皆さんのおかげで無事終えることができました。

指導者は、庄内地域で英語を教えているネイティブス

実践開始! 入国審査

シチュエーションごとに
実践会話の練習

ピーカー7名。基本会話の練習後、入国審査やタクシーの乗り場などを想定したワークショップを行いました。

今年度も特別講座を予定しております。さらに、楽しくてためになる講座を企画していきますので、皆さん楽しみにお待ちください。

アンケートから
参加者の声

- ☆旅行にかかわる基本的なシチュエーションが良かった。
- ☆実践的な内容で良かった。
- ☆グループ対応だけでなく、更に個人対応もできたことが良かった。
- ☆先生達がとても丁寧で親切だったので、話していて楽しかった。

☆わからない所も日本語でなく、英語で説明してくれた所も良かったと思います。

☆買い物の場面と、道を聞く場面などがあるといい。



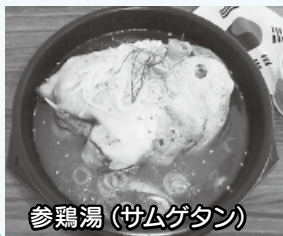
国際村 せがいの台所

2/19(土) 韓国料理

明子さんの台所

今回のメニューは「参鶏湯(サムゲタン)」と、「大根のキムチ」。参鶏湯は、若鶏1匹にもち米、高麗人参、にんにく、ナツメなどの食材を詰め、じっくり煮込んで作ります。疲労回復や栄養補給にいいとされる韓国の伝統料理です。また大根のキムチは、韓国料理店などでよく目にする一品。家庭で簡単に作れます。

参鶏湯を煮込んでいる間、講師の岡部明子さんから韓国語を習ったり、韓国の文化のお話などをしていただく



参鶏湯(サムゲタン)

など、料理以外のことも学びました。参加者の皆さんから質問も出てたりと、参加者も韓国について興味津々。料理だけでなく、国の文化を知る充実した講座になりました。



4/24(日) ジャマイカ料理

アレクシさんの台所

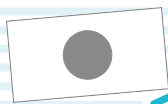
ジャマイカ料理はせがいの台所“初”。参加者はほぼ定員いっぱいの19名でした。講師を務めてくださったのは、ジャマイカ出身の留学生、アレクシ・リードさんです。

メニューは、ジャークチキン、ライスアンドピーズ、フェスティバル(トウモロコシ粉を使った揚げパン)、サラダ、サツマイモポディン、マンゴラダ。今回は日本ではめったに使わない、「サトウキビのお酢」などを使って



フェスティバルを作っている様子

料理しました。これらはネットショッピングを使って購入できます。国際村のホームページにレシピも掲載されますので、興味のある方はぜひお試しを!



アメリカ・ワシントン州サムナー高校へ交換留学中!



中央高校生より

お便りが届きました。

今年で2年目を迎える、県立鶴岡中央高校とアメリカ・ワシントン州サムナー高校との交換留学。

今年も四月初めに二年生の池田里圭子さん、今井圭さんが3ヶ月の留学に旅立ちました。

国際村ではこの交換留学の実施に協力していますが、滞り1ヶ月を過ぎて、二人から全文英語での

お便りが来ました。ここでは日本語訳を掲載します。英語文はHPに掲載いたしますので、どうぞご覧ください。

また夏には、交換生であるサムナー高校生を二人、迎える予定です。今年もいっそう両校の交流が深まるでしょう。



池田^{りかこ}里圭子さんより

English

私の名前は里圭子です。アメリカに来て1ヶ月になります。アメリカの生活を見ると、日本とは全然違うなと思います。日本より時間がゆっくり流れているし、アメリカの人たちはすごくユニークです。みんな自分の意志を持っています。はじめて学校に行った時、7時25分に始まって14時25分に終わるので、驚きました。それに生徒は化粧やピアス、マニキュアをしていてびっくりしました。日本ではできません。アメリカはとても自由だと思います。みんな話しかけてきて、私の靴をかわいとか、いろいろ言います。英語が上手く話せないの、上手くなるように勉強します。すごく楽しいです。

日本の主食は米ですが、アメリカの主食はパンとパスタとマカロニです。学校のカフェテリアではピザとサンドウィッチを売っていて、私たちは自分で選んで、違う味を楽しむことができます。

サムナー高校の生徒は自分で授業を選びます。毎日同じ時間割りですが、楽しいです。教室でも食べたり飲んだりできるし、これも日本とは違います。残りの2ヶ月、楽しんで学びたいと思います。



中央が里圭子さん。ホストファミリーと一緒に。



今井^{けい}圭さんより

English

私の名前は圭です。アメリカでは最初、あまりに違うことがありすぎて大変でした。食文化やあいさつなどはそういった例です。日本では毎食米を食べますが、アメリカではシリアル、マカロニ、パンを食べます。米は時々しか食べません。学校に行くとき日本では「行ってきます」、ここでは「See you later」と言って抱きしめます。私たちは「おやすみ」と親に言いますが、彼らは「good night」と言って抱きしめます。私たちは抱きしめたりしないので、とても驚きました。

ここでは時間がゆっくり流れています。アメリカではたくさんペットを飼っています。この地域は農家が多く、休日は家族と過ごします。

学校のことを紹介します。高校は大きく、生徒もたくさんいます。生徒は化粧品を持っていってもいいし、髪形も変えます。教室で食べたり飲んだりしてもいいです。自分で授業を選ぶので、違う年齢の生徒が同じ授業にいたりします。授業は1時間で、5分の休憩があります。生徒は週に1回、将来について考えます。日本のロングホームルームのような感じです。クラブも日本のとは違います。日本のクラブは1年間ですが、ここでは季節ごとに分かれています。この音楽活動はとても人気があります。大会にも出たり、パレードにも出ました。すごく楽しかったです。私のホストファミリーも楽器を演奏します。

この交換留学は私にとってよい経験になると思います。3ヶ月を楽しみたいと思います。



左が圭さん。ホストの兄妹と

相談窓口 通訳・翻訳業務の 報告

相談窓口

出羽庄内国際村では、地域に在住している外国出身者や関係者の方々の相談、また外国に関する様々な事柄に対応するため、相談窓口

を開設しています。対応方法としては国際村での相談と電話相談がメインですが、ケースによっては出張相談も行っています。

平成23年3月31日現在鶴岡市に在住している外国人登録者は35カ国、約740人です。この内半分以上は中国出身の方です。

平成22年度の相談件数は283件。相談内容は、通訳・翻訳を除くと、教育・子育てに関する相談が一番多く、その次は家族・家庭の問題、労働関係をめぐる問題、医療・福祉の問題が多くありました。相談内容をみると、新しい鶴岡市の外国籍住民となる人の数は少し減少ぎみで、長期の在住者の割合が多くなっている傾向があるようです。ただ、言葉や習慣の違いによる疑問や悩みは、在日歴の長短にかかわらず様々な場面で出てきますので、これからの相談窓口の対応も相談者のニーズに応えられるようにしなければならないと思っています。

相談内容別の割合

・ 家族・家庭の問題	7.7%
・ 医療・福祉の問題	4.2%
・ 近隣生活、生活環境の問題	3.5%
・ お金に関する問題	0.7%
・ 労働関係をめぐる問題	5.9%
・ 年金や税金をめぐる問題	1.0%
・ 交通事故・その他事故の問題	0.7%
・ 教育・子育てをめぐる問題	19.9%

・ 通訳・翻訳	38.7%
・ 在留資格・大使館関係	3.1%
・ その他	14.6%

通訳・翻訳

生活の様々な場面で必要とされる通訳や翻訳の依頼も国際村で数多く受けています。昨年度受けた通訳・翻訳の依頼は111件。内容は相談業務と同様に、教育・子育てに関する依頼が多く、3分の1を占めました。外国出身者の日本での滞在期間の長期化によって、子どもの教育の問題は必ず出てきます。特に子どもが学校に入ってから子ども自身の日本語の進歩は速くても、親（保護者）の日本語の上達が追いつかず、家庭訪問、三者面談や学校からの便りに対しての通訳・翻訳の要望が多くありました。また、中には日常会話のレベルを超えた難しい内容の通訳・翻訳もありました。

平成22年度に依頼された通訳・翻訳の言語は、英語をはじめ、中国語、韓国語、タイ語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、フランス語の8言語でした。国際村がこれらに対応できるのは大勢のボランティアの皆さんの協力のおかげです。外国出身者を含む地域の皆様の力がなければ国際村の在住外国人支援や多文化共生事業の実施は不可能です。皆さんのボランティアの精神に感謝申し上げます。これからも引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。

通訳・翻訳内容の割合

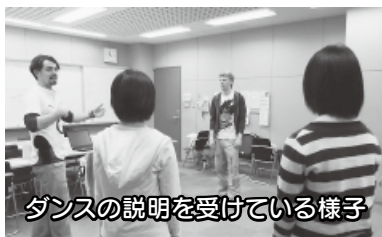
・ 生活全般	23%
・ 医療	12%
・ 教育・子育て	33%
・ 観光	9%
・ その他	23%

英語交流クラブ 例会報告



このクラブは、英語や国際交流に興味のある中高生が、月に1回集まり様々な活動をするものです。

3月は、講師の出身国であるアイルランドの祝日、聖パトリックスデーにちなみ、アイルランドの文化について学びました。アイリッシュダンスをみんなで踊ったり、アイルランドについてのクイズに挑戦したりしました。



ダンスの説明を受けている様子



ウォーミングアップのゲーム

4月は新しいメンバーも増えたので、自己紹介シートを英語で書いて発表しました。この時は、正しい文

法を使いながら会話をする訓練を織り交ぜて自己紹介をしました。

その後は、このクラブの講師を務めてくれているジョニーさんの出身国、アイルランドについて学んだり、アイルランド語の数字の言い方を習ったりしました。

今年はコロラド州との姉妹州県締結から25周年の記念の年。5月からは、ビデオレターのやり取りなどを行いながら、コロラドの高校生たちとも交流を深めていきたいと考えています。

いつでも入会可能です！

対象・・・中学生～高校生
会費・・・年間2,000円
活動日・・・月に1回、土曜日もしくは日曜日
2時間程度

英語が好きなぜひ入会を！楽しい活動に参加しませんか？お問い合わせは国際村まで！

第17回出羽庄内国際村

ワールドバザール

みんな来てね! 待ってます~

6/12(日)

10時~15時



ステージでは
・大道芸(中国雑技)
(11:00~、13:00~の2回)
・歌や楽器の演奏など

正面玄関前では
大人気の
フリーマーケットなど



交流広場では、
おいしい世界の
料理や雑貨など
の販売



館内では
日用品、衣類などのバザー、国際交流
団体の紹介など

ボランティアスタッフ募集

ワールドバザールのボランティアスタッフを募集しています。都合の良い時間でOKです。スタッフとして参加してみませんか?

○活動時間 8:45~15:30

○活動内容 バザールの準備・運営

※申込みは出羽庄内国際村まで

電話 0235-25-3600

“支え合おう 世界みんな仲間”

ワールドバザールのスタッフ、出店者、来場のお客様、みんなで東日本大震災への募金活動に取り組みます。ご協力をお願いします。

環境にやさしいお祭りにしましょう

ワールドバザールではエコへの取り組みとしてリサイクルしやすいものを使い、ゴミの分別・減量に取り組みます。

○みなさんをお願いします!!

ぜひ、マイバッグを持参してください。みんなの力で環境にやさしいお祭りにしましょう。

あ と が き

東日本大震災が発生してから3ヵ月が経過しようとしています。未曾有の大災害に遭われ、犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

被災地の復興に向けて、私たちが普段の生活で協力できることは、照明や暖冷房などで節電に努め、無駄なエネルギー消費を抑えることかと思います。国際村でも、不要な照明を落としたり、会議などで施設の利用がない場合は、閉館時間を早めたりするなどの対策を進めております。これから冷房などで電力需要が増える時期になりますが、それぞれが身近なところで節電に努めることが大切なことと思います。

本号では、今年度の事業計画など、国際村で取り組んでいる様々な事業をお知らせしております。今年度も皆様のご協力とご支援をいただきながら事業に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

賛助会員募集中! ご協力をお願いします

国際村では、地域に国際交流の輪を広げ、より広範囲で有益な事業を実施するために、賛助会員制度を設けております。財団の設立目的に賛同され、事業および運営にご支援くださる個人、法人を募集しております。

《年会費》一般/3,000円、高校、大学生/2,000円、小、中学生/1,000円、法人/1口10,000円

《期 間》平成24年3月31日まで

会員特典

- 会報「国際村だより」の送付
- 主催事業のご案内
- 主催事業の参加料割引(10%)
- アマゾン民族館の入館無料
- 会報で団体名の紹介(法人会員のみ)